

<p>②活動対象 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上</p> <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>
<p>③活動内容</p>	<p>【事業の背景】 近年「発達障がい・自閉スペクトラム症」への認識は広がっているが、障がいの特性や、具体的な対応方法はまだ十分に周知されていない。そのため、保護者が育て方に悩む、学校でのトラブルや不登校、卒後の就労・就労継続が難しい、引きこもりなど、様々な困りごとがある。</p> <p>【必要性・目的】 「啓発活動」と「学習会」を行い、障がいの特性と支援方法について、正しく知ること、保護者の子育ての不安を軽減し、障がいのある人の暮らしや支援に役立てる。</p> <p>【具体的な活動内容】</p> <p>① 障がいの特性と対応を学ぶ『Smile 学習会』を開催。 開催日: 毎月第3木曜日 13:00～15:00 12回/年 参加者: 自閉スペクトラム症の人に関わる保護者や支援者 開催場所: 東海市しあわせ村 内容: 特性の理解と、具体的な支援方法、すぐに役立つ暮らしの工夫や、支援ツールの活用を学ぶ。 また、気軽に話せる茶話会の時間を取り、子育ての悩みの共有や、地域の学校や福祉事業所等の情報共有をしながら、保護者に仲間作りの場を提供する。</p> <p>② 講演『体験してわかる！自閉スペクトラム症のこと』 依頼を受け、障がいの特性とその対応を、楽しく学べる講演を行う。 講演回数: 10回/年 講演先: 保護者研修会、東海市近郊の小中学校、高校、大学、一般など 参加人数: 年間約 1,000人 内容: スライドを使用して障がいの特性を説明し、疑似体験で特性のある人の困り感を実感してもらおう。また、障がいのある子供を持つ親として、子供への思いや、子育ての工夫を紹介。 ヨシタケシンスケ著「みえるとかみえないとか」を朗読。絵本を通して、自分と違う人と共に生きるヒントを伝えている。</p> <p>③ 展示会 ～特性のある人とその家族のための～『暮らしの工夫と道具展』</p>

開催回数:3回/年

開催場所:東海市市民活動センター、東海市しあわせ村など

内容:幼児期からの暮らしの工夫をまとめたポスターと、支援ツールや介助箸などの福祉の道具を展示する。

- ④ 外部講師による「障がいと家庭での支援」について学ぶ講座を開催
開催頻度:おおよそ1回/年

活動の様子



外部講師による研修会



市民交流まつり



高等学校の福祉授業



自立支援協議会の研修会



Smile 学習会



小学校の福祉授業



～特性のある人とその家族のための～『暮らしの工夫と道具展』～

④活動の成果 (活動実績がある 場合)

【これまでの活動実績】

①Smile 学習会の実施

令和3年1月～毎月1回、第3木曜日開催

②講演の実績

《保護者向け研修会の講師》

児童発達支援センターカトリア学園(東海市)、児童発達支援センターおひさま(大府市)、いるかクラブ(知多市)、阿久比町城山保育園(阿久比町)、常滑市立千代ヶ丘学園(常滑市/ 現 波の音児童発達支援センター)、知多市立やまもも園(知多市)

《福祉の授業の講師》

・(東海市)

緑陽小学校、大田小学校、明倫小学校、三ツ池小学校、富木島小学校、船島小学校、名和小学校、平洲小学校、名和中学校、加木屋中学校、ほっとプラザ、愛知県立東海樟風高等学校、愛知県立東海南高等学校

・(知多市)

旭南小学校、南粕谷小学校、岡田小学校、知多中学校

・(知立市)

知立西小学校、八ッ田小学校、来迎寺小学校、知立東小学校

・(大府市)

大府南中学校、共和西小学校

《教職員研修会の講師》

東海市立教職員研修センター、東海市立緑陽小学校、東海市立明倫小学校、東海市立大田小学校、東海市立平洲中学校、社会福祉法人さつき福祉会、愛知県立半田特別支援学校、知多市立新知小学校、大府市立吉田小学校、

《その他》

サポート知多支援者研修会(知多市)

民政児童委員障害者子供部会(東海市)

東海市女性子ども課(現 東海市こども課)

東海市健康推進課

あいち発達障がい者支援センター一般研修会(刈谷市/ 刈谷市産業振興センター)

日本福祉大学看護学部(東海市)

【講演の参加者の感想を一部抜粋】

・お母さんたちの子育ての話が参考になり、よかった(保護者)

・障害のある子に、具体的にどう接していけば良いかがわかった。家庭でも実践していこうと思う(保護者)

・子育ての悩みを相談できる仲間づくりのきっかけになった(保護者)

・母親の子供に対する愛情を感じた(保護者)

③展示会の実施

・令和5年12月 東海市しあわせ村

・令和6年1月・4月 東海市立市民活動センター

	<p>④外部講師による研修会の実施 令和3年3月「自閉症の人へ思春期支援」(株)おめめどう 奥平綾子氏 令和3年9月「自閉症の子育てについて」(株)あいぼ 奥山代表 令和4年10月 施設見学&相談会 (株)ともお 生活介護事業所</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>